

NY マーケットレポート (2014 年 11 月 12 日)

NY 市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。安倍首相が、早期衆院解散・選挙を検討しているとの報道を否定する発言が日本の当局者から出たことなどが、NY 市場序盤まで影響していた。その後は、下落した株価が下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、週明けから低下が続いた米長期債利回りが上昇に転じたことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇する動きとなった。

2014/11/12 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	115.27	116.02	115.00
EUR/JPY	144.04	144.70	143.66
GBP/JPY	183.67	184.67	183.32
AUD/JPY	100.45	100.84	100.06
EUR/USD	1.2496	1.2498	1.2454

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	115.44	115.09
EUR/JPY	144.07	143.35
GBP/JPY	183.92	182.28
AUD/JPY	100.54	100.24
EUR/USD	1.2497	1.2431

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17197.05	+72.94
ハンセン指数	23938.18	+129.90
上海総合	2494.48	+24.80
韓国総合指数	1967.27	+4.27
豪ASX200	5463.05	-54.05
インドSENSEX指数	28008.90	+98.84
シンガポールST指数	3283.71	-8.44

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6611.04	-16.36
仏CAC40	4179.88	-64.22
独DAX	9210.96	-158.07
ST欧州600	33.5.09	-3.84
西IBEX35指数	10157.30	-181.50
伊FTSE MIB指数	18702.24	-553.23
南ア 全株指数	50374.85	+19.47

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	115.60	115.74	114.89
EUR/JPY	143.75	143.81	143.43
GBP/JPY	182.47	182.67	181.98
AUD/JPY	100.76	100.84	100.12
NZD/JPY	91.08	91.16	90.48
EUR/USD	1.2436	1.2493	1.2419
AUD/USD	0.8717	0.8745	0.8704

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17612.20	-2.70
S&P500	2038.25	-1.43
NASDAQ	4675.14	+14.58
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14856.20	+95.93
ブラジルボルサ指数	43744.57	-556.26
ロシアモスクワ指数	52978.89	+504.62

11/13 経済指標スケジュール
08:50 【日】10月国内企業物価指数
08:50 【日】9月機械受注
09:00 【豪】11月消費者インフレ期待
09:00 【NZ】11月ANZ消費者信頼感指数
09:01 【英】10月RICS住宅価格
13:30 【日】9月鉱工業生産・9月稼働率指数
14:30 【中】10月固定資産投資[都市部/年初来]
14:30 【中】10月鉱工業生産
14:30 【中】10月小売売上高
16:00 【独】10月消費者物価指数
16:45 【仏】9月経常収支
16:45 【仏】10月消費者物価指数(前月比)
17:00 【トルコ】9月経常収支
17:30 【スウェーデン】10月失業率
18:00 【欧】10月欧州中銀 月報
22:00 【ポーランド】9月経常収支・9月貿易収支
22:00 【ポーランド】10月消費者物価指数
22:30 【米】新規失業保険申請件数・失業保険継続受給者数
22:30 【カナダ】9月新築住宅価格指数
00:00 【米】9月JOLT労働調査[求人件数]
04:00 【米】10月財政収支

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1159.10	-3.90
NY 原油	77.18	-0.76
CMEコーン	377.75	+4.00
CBOT 大豆	1047.75	-16.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.54%	0.54%
3年債	1.00%	0.97%
5年債	1.65%	1.64%
7年債	2.06%	2.06%
10年債	2.37%	2.36%
30年債	3.09%	3.09%

11/13 主要会議・講演・その他予定
・欧州議会本会議
・イエレンFRB議長 講演
・米30年債入札

(出所:SBILM)

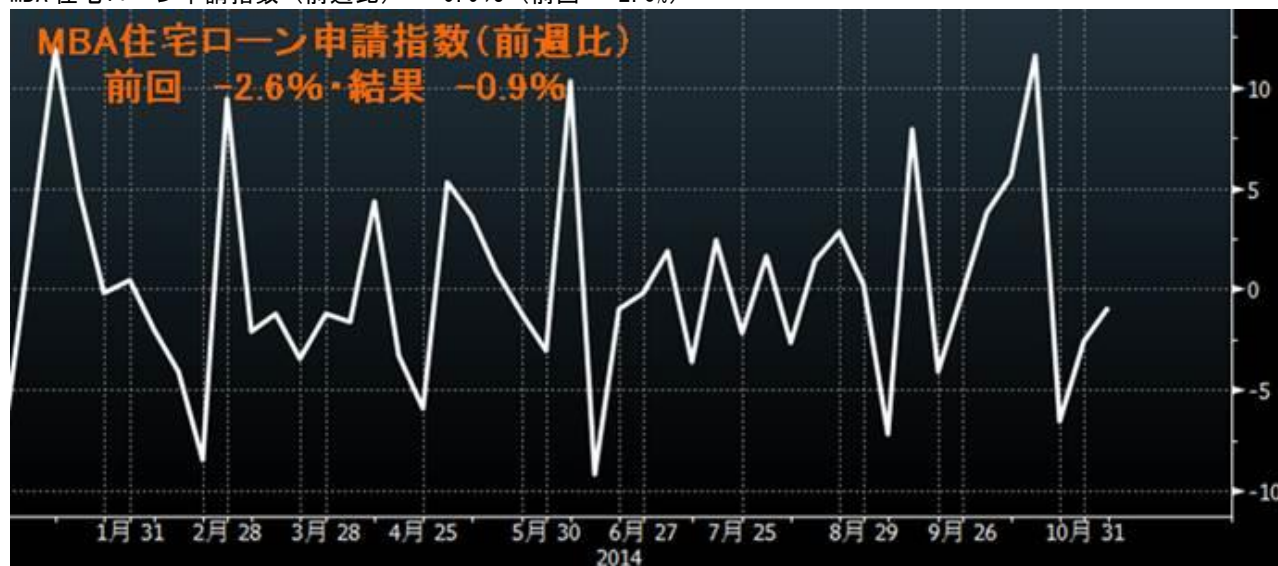
NY 市場レポート

欧州市場

21:00

≪ 経済指標の結果 ≫

MBA 住宅ローン申請指数（前週比） -0.9%（前回 -2.6%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

≪ MBA 住宅ローン申請指数 ≫

	11/7	10/31	10/24	10/17	10/10	前年同期
申請指数	-0.9	-2.6	-6.6	11.6	5.6	-19.2
購入	1.1	2.6	-5.0	-4.8	-0.7	-11.7
借換え	-1.9	-5.5	-7.4	23.3	10.6	-23.4
固定金利	-0.6	-1.7	-5.3	9.9	5.3	-19.3
変動金利	-4.3	-12.3	-18.2	30.7	8.9	-18.9

ローン契約平均金利（%）

固定金利 30 年 4.19 4.17 4.13 4.10 4.20

固定金利 15 年 3.38 3.38 3.28 3.28 3.41

22:00

ドル/円 115.28 ユーロ/円 143.65 ユーロ/ドル 1.2464

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6603.83	-23.57	ダウ INDEX FUTURE	17500	-68
仏 CAC40	4197.69	-46.41	S&P500 FUTURE	2028.80	-7.70
独 DAX	9241.26	-127.77	NASDAQ FUTURE	4171.50	-11.75

（出所：SBILM）

22 : 25

《 要人発言 》

ルー米財務長官

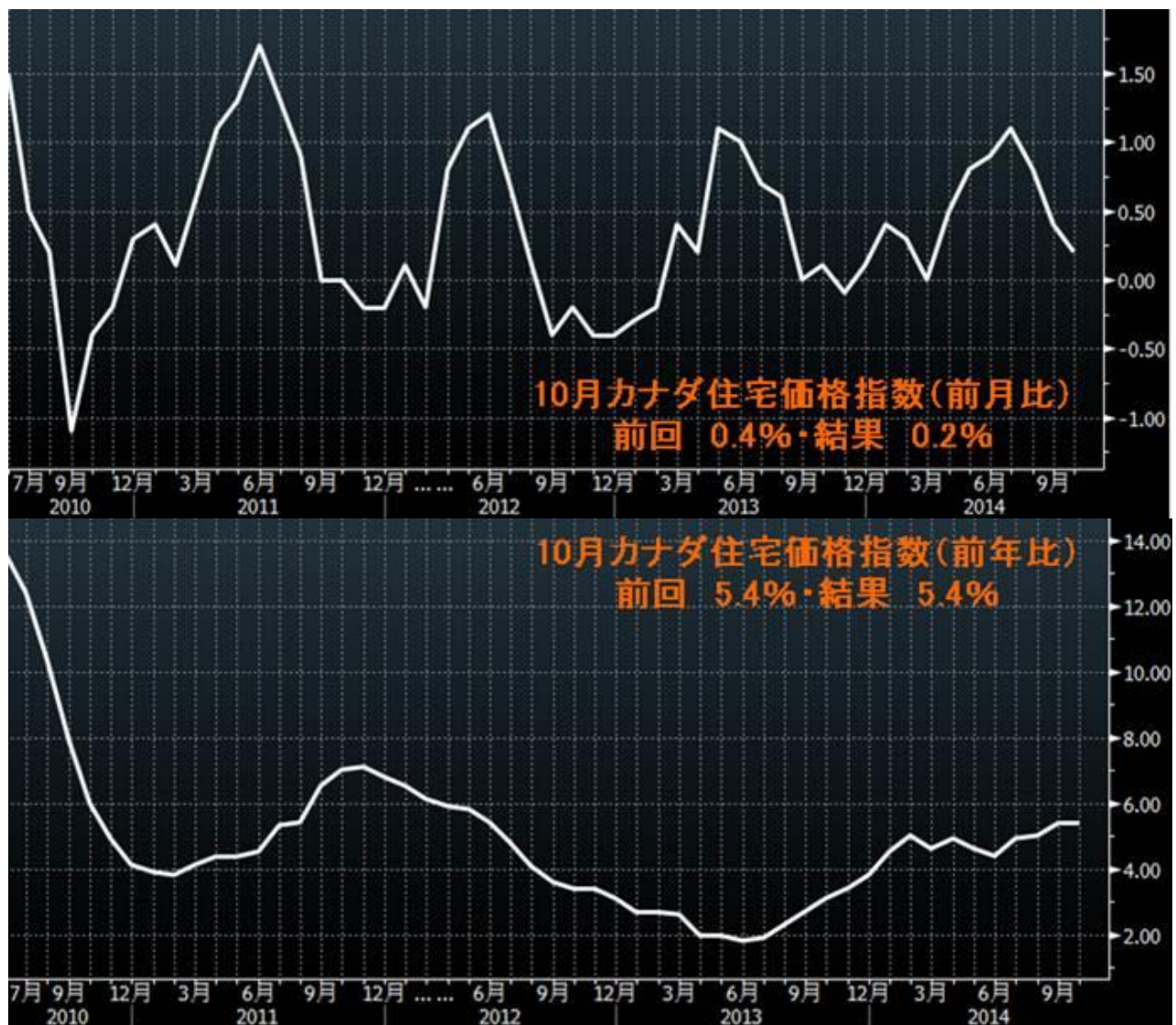
- ・「ECB の行動だけでは不十分」

22 : 30

《 経済指標の結果 》

10 月カナダ住宅価格指数（前月比） 0.2%（前回 0.4%）

10 月カナダ住宅価格指数（前年比） 5.4%（前回 5.4%）



（出所：ブルームバーグ）

22 : 40

《 要人発言 》

佐藤日銀審議委員～ロンドンでのスピーチ

- ・「日銀は好転している期待形成のモメンタムを維持するため、ある種の保険をかける意味で追加緩和」
- ・「QQE の効果は資産買い入れの進捗と共に累積的に強まる、今後もさらに強まる」
- ・「消費者物価指数が 2% に達すれば、QQE は使命を果たしたと単純に考えているわけではない」
- ・「日銀が目指す物価安定、経済が良好に推移しバランスよく物価が上がっていく姿」
- ・「QQE の継続期間、フォーキャスト・ターゲティングの考え方がベース」
- ・「政労使協議が実際の賃金改定につながり、中長期の予想物価上昇率に好影響及ぶこと期待」
- ・「人々の予想形成にフォーカスし、賃金含む幅広い物価指標の先行きを丹念に点検していくことが重要」
- ・「政策継続の必要性、毎回の金融政策決定会合で政策委員があらためて判断していくべき」

22 : 40

ロシア部隊がウクライナに侵入と BBC が NATO 司令官引用して報道。

22 : 45

ロシア国防相が、部隊のウクライナ侵入を否定。

23 : 20

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁

- ・「金利は長期間にわたり現行水準にとどまる見通し」
- ・「ECB はバランスシート拡大にコミット、中期インフレ見通し悪化なら一段の非標準措置実施へ」
- ・「ユーロ圏の失業率は容認できない」

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17538.74	-38.74
ナスダック	4647.50	-13.05

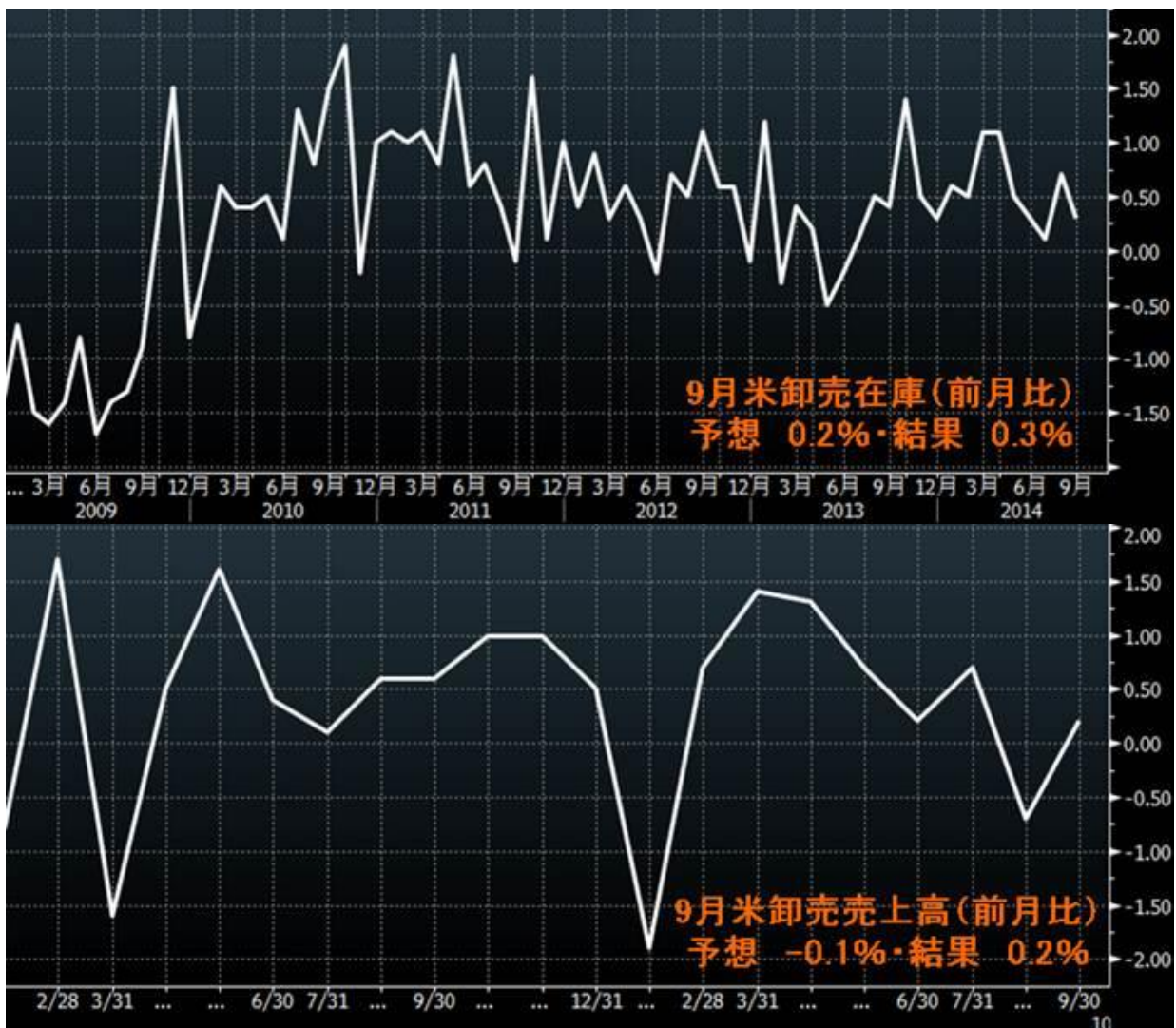
(出所: SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

9 月米卸売在庫（前月比） 0.3%（予想 0.2%・前回 0.6%）
前回発表の 0.7% から 0.6% に修正

9 月米卸売売上高（前月比） 0.2%（予想 -0.1%・前回 -0.8%）
前回発表の -0.7% から -0.8% に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米卸売在庫》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
在庫合計	0.3	0.6	0.3	0.2	0.3	1.0	1.1
耐久財	0.8	0.8	0.4	0.6	0.8	0.9	0.7
・自動車	1.2	0.8	1.1	-0.2	0.8	0.9	2.1
・機械	0.5	0.7	0.4	0.2	0.7	0.4	0.3

売上合計	0.2	-0.8	0.4	0.4	0.7	1.3	1.6
耐久財	0.5	0.0	0.3	1.5	0.4	1.6	1.6
・自動車	1.4	-1.4	-0.1	2.1	1.4	3.1	1.0
・機械	-0.7	1.3	0.6	0.9	0.9	1.6	1.0
非耐久財	-0.1	-1.4	0.5	-0.5	1.0	1.1	1.7

0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、英国と米国の規制当局が欧米の銀行に高額な罰金を科すと発表したことから、処分対象が拡大するとの思惑で金融関連株が軒並み売られるなど、主要株価は堅調な動きとなった。

<< 経済指標のポイント >>

(1) MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、前週比-0.9%となり、3週連続で低下となった。借り換えの申請が減少したことが要因となった。構成指数では、借り換え指数が-1.9%となった一方、購入指数は+1.1%となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.19%（前週4.17%）で3週連続の上昇となった。また、15年固定金利型は3.38%（前週3.38%）となった。申請全体に占める借り換えの割合は62.9%（前週62.9%）。

(2) 9月の米卸売在庫は、前月比+0.3%の5388億3200万ドル、前年同月比は+7.4%となった。

①耐久財は+0.8%で、自動車は+1.2%と今年3月以来の大きな増加率となり、コンピューター機器は+3.4%、木材は+1.5%、金属は+1.8%、機械が+0.5%となった。

②非耐久財は-0.6%で、石油製品が-5.3%と2013年11月以来の大きな減少率となり、医薬品は-2.4%と2013年2月以来の低水準、農産物も-3.0%、化学製品は+2.4%となった。

(3) 9月の卸売売上高は、前月比+0.2%の4542億9800万ドル、前年同月比は+5.2%となった。

①耐久財は+0.5%で、金属が+1.1%、自動車は+1.4%、木材は+1.8%、機械は-0.7%と2013年11月以来の減少率となった。

②非耐久財は-0.1%で、石油製品は-1.7%、農産物が-5.9%、紙製品が-2.6%となった。

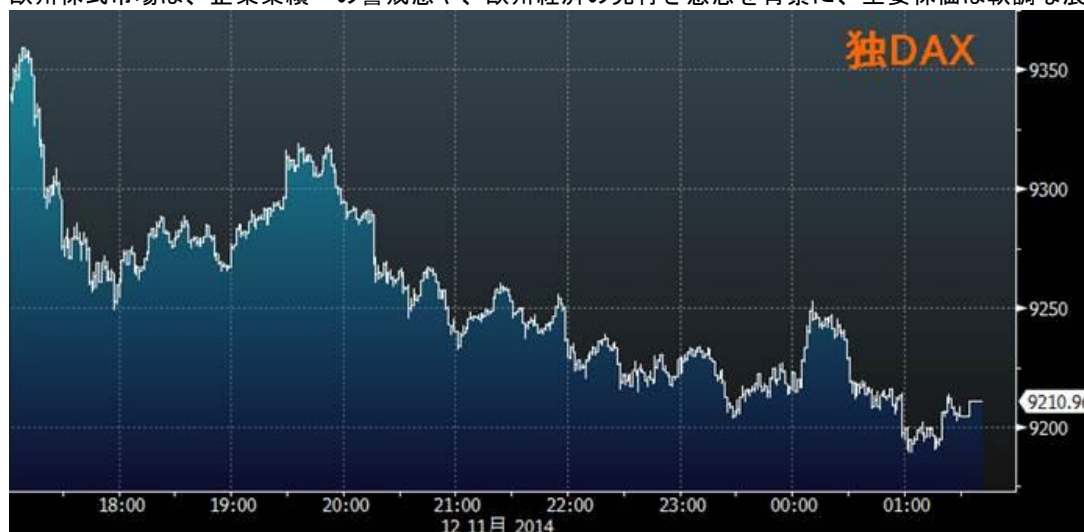
③売上高に対する在庫の比率は、前月比横ばいの1.19となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6611.04	-16.36
仏 CAC40	4179.88	-64.22
独 DAX	9210.96	-158.07
ストック欧州 600 指数	335.09	-3.84
ユーロファースト 300 指数	1342.48	-16.30
スペイン IBEX35 指数	10157.30	-181.50
イタリア FTSE MIB 指数	18702.24	-553.23
南ア アフリカ全株指数	50374.85	+19.47

（出所：SBILM）

<< 欧州株式市場 >>

欧州株式市場は、企業業績への警戒感や、欧州経済の先行き懸念を背景に、主要株価は軟調な展開が続いた。



（出所：ブルームバーグ）

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17604.72 (-10.18)、 S&P500 2038.36 (-1.32)、 ナスダック 4663.45 (+2.90)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、英中銀が英国の成長率見通しを下方修正したことなどを手掛かりに欧州経済への先行き懸念が強まり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。ただ、米 10 年物国債入札を控えてポジション調整の売りも出やすく、上げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.05% (前日 3.09%)、10 年債が 2.33% (2.36%)、7 年債が 2.03% (2.06%)、5 年債が 1.62% (1.64%)、3 年債が 0.98% (0.97%)、2 年債が 0.53% (0.54%)。

《 欧州のポイント 》

①英中銀の四半期インフレ報告で、GDP 成長率を 2015 年は 2.9% (8 月時点 3.1%)、2016 年は 2.6% (2.8%) と成長率見通しをいずれも下方修正した。また、インフレ率見通しを 2014 年は 1.2% (従来予想 1.9%)、2015 年は 1.4% (1.7%) とそれぞれ引き下げた、2016 年は 1.8% で据え置いた。

英中銀は、ユーロ圏の景気低迷が英経済への圧迫要因となっており、インフレ率は数カ月で 1% 弱に低下する可能性も指摘した。英中銀は、「中心的な見方は 8 月時点よりもやや弱い。悪化した世界見通しと民間部門の内需減退を反映している」とし、「主な下振れリスクはユーロ圏での経済活動の弱さに起因し、英国からの輸出への圧迫要因となる」と分析した。

②ドイツ経済省は、月報で第 2・四半期にマイナス成長を記録した国内経済が第 3・四半期に安定を取り戻し、総じてやや上向きのトレンドがみられるとの認識を示した。第 4・四半期に目立った経済活動の拡大がみられるとは予想していないと指摘した。第 3・四半期の GDP は 14 日に発表される。市場では、前期比 +0.1% と予想されている。

③英国立統計局によると、ILO (国際労働機関) ベースでみた 7-9 月の失業率は 6.0% となり、市場予想の 5.9% を上回る結果となった。7-9 月の週間平均賃金は、ボーナスを除くベースで +1.3% となり、6-8 月の +0.9% から加速した。5 年ぶり低水準だった 9 月のインフレ率 1.2% を上回ったが、これは 2009 年 7-9 月以来となった。7-9 月の失業者数は -11.5 万人、これは 12-2 月以来の小幅な減少となった。

④ポーランド中銀は、インフレ報告で、ユーロ圏経済の低迷や、ウクライナ情勢の緊張で投資家心理が悪化したことを理由に、今年と来年の GDP 予測を下方修正した。GDP 予測は、今年が +3.2%、来年が +3.0% と 7 月時点の予想の 3.6% から下方修正した。今年のインフレ率予測も 0.1% と、7 月時点の 0.2% から下方修正した。

3 : 00

《 米財務省 10 年債入札 》

最高落札利回り・・・2.365% (前回 2.381%)

最低落札利回り・・・2.250% (前回 2.250%)

最高利回り落札比率・・・33.00% (前回 6.04%)

応札倍率・・・2.52 倍 (前回 2.52 倍)

4 : 20

NY 金は、中心限月が前日比 3.90 ドル安の 1 オンス = 1159.10 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.76 ドル安の 1 バレル = 77.18 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1159.10	-3.90
NY 原油	77.18	-0.76

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

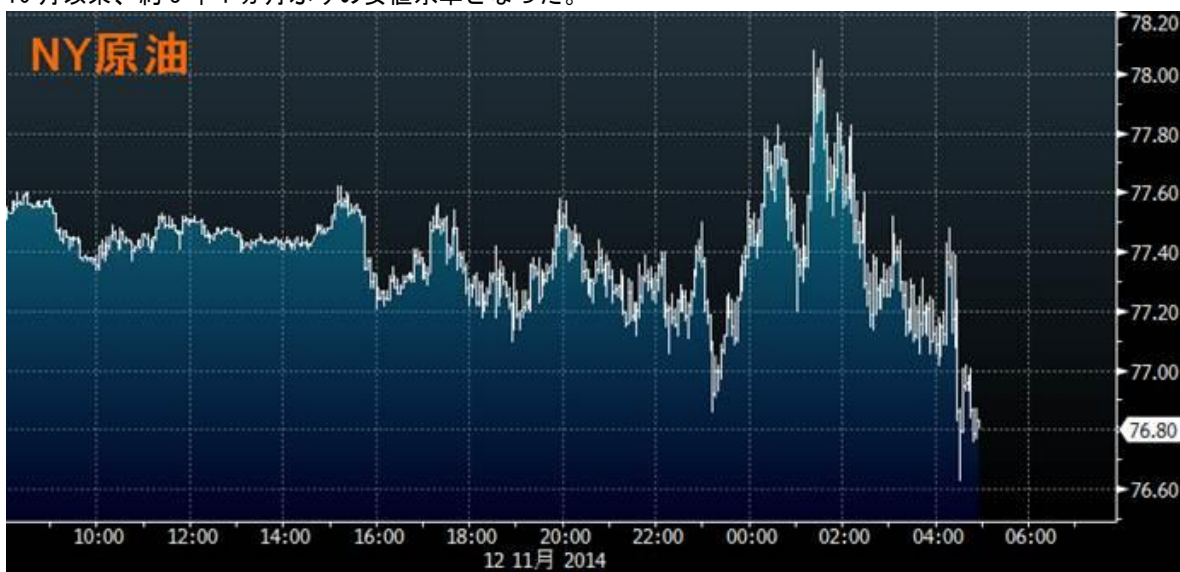
NY金は、やや材料に乏しい中、ドルがユーロなどに対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金を買う動きが先行した。しかし、その後ドルが上昇に転じたことにつれて売りが優勢となった。



(出所: ブルームバーク)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、OPECの月報でサウジアラビアの10月の原油生産量が減少したことが明らかとなる一方で、リビアや非加盟国の生産量は増えたことから世界的な供給過剰への懸念が強まった。また、ドルがユーロなどに対して上昇したことや、13日発表の米石油統計で原油在庫の増加が見込まれることも圧迫材料となった。終値としては2011年10月以来、約3年1ヵ月ぶりの安値水準となった。



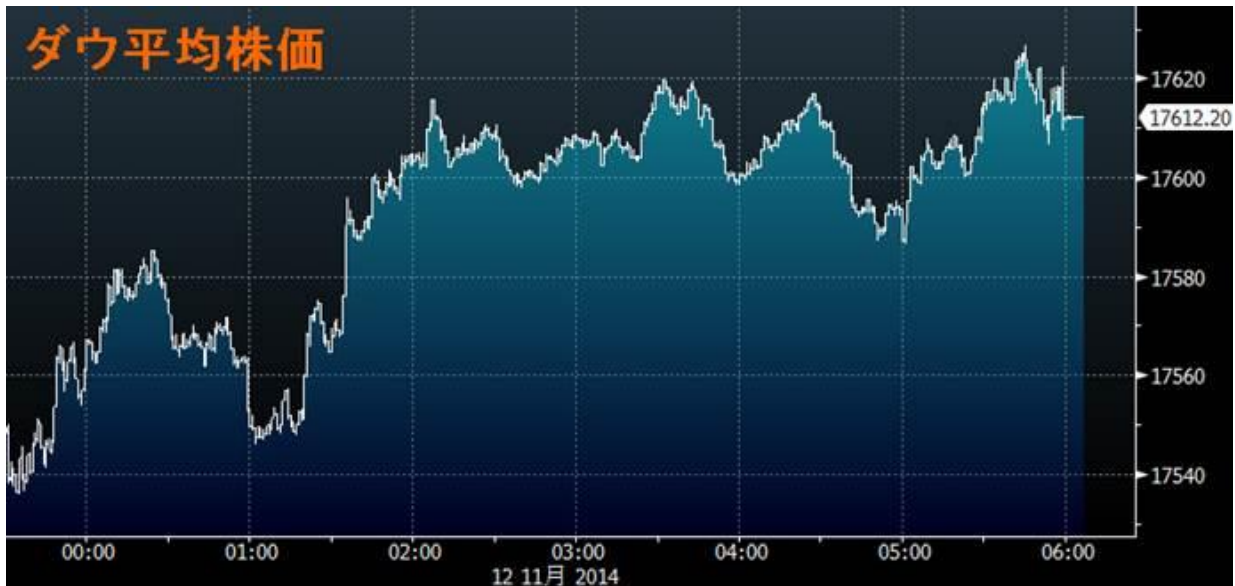
(出所: ブルームバーク)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17612.20	-2.70	17626.71	17536.17
S&P500 種	2038.25	-1.43	2040.33	2031.95
ナスダック	4675.14	+14.58	4678.58	4643.78

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、英国と米国の規制当局が欧米の銀行に高額の前金罰金を科すと発表したことから、処分対象が拡大するとの思惑で金融関連株が軒並み売られるなど、序盤の主要株価は軟調な動きとなった。しかし、米景気の楽観的に見方などから下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 69 ドル安まで下げる動きとなった。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きとなり、一時プラス圏まで値を戻す場面もあった。



(出所: ブルームバーク)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	115.60	115.74	114.89
EUR/JPY	143.75	143.81	143.43
GBP/JPY	182.47	182.67	181.98
AUD/JPY	100.76	100.84	100.12
NZD/JPY	91.08	91.16	90.48
EUR/USD	1.2436	1.2493	1.2419
AUD/USD	0.8717	0.8745	0.8704

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、序盤のドル円・クロス円やや小動きの展開となった。その後は、下落して始まった米株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、円を買い戻す動きが強まり、ドル円・

クロス円は堅調な動きとなる場面もあった。特に、米長期債利回りが上昇したことから、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。